

# キャリアアッププログラム2016（1学期）講座シラバス

【エントリー科目】

科目名	確率・統計入門	
副題	確率・統計を初歩から学び、生活や仕事に役立てたいと思っているあなたのために	
受講対象者	学校で習った確率・統計を忘れてしまった、またはまったく習わなかった、しかも中学校レベルの数学の予備知識しか持っていないという方が、確率・統計を初歩から勉強して生活や仕事に役立てたいと思っているようなケースを想定して講義を組み立てる予定です。	
講座概要	グラフ、表、実際の統計データを用いながら確率・統計の考え方を中学レベルの数学の範囲で直感的に分かるように説明します。	
到達目標	中学レベルの数学で確率・統計を分かりやすく説明し、最終的には受講者に皆さんが、簡単な中級レベルのデータ分析ができるようになっていただくことを目標にしています。	
授業計画 および開講日	第1回 5/25(水)	データの整理（度数分布表）と基本統計量（度数分布、平均、分散など）の計算と意味
	第2回 6/1(水)	データのばらつきと集中度の尺度（標準偏差、ジニ係数）と標準化。偏差値の意味。
	第3回 6/8(水)	確率に関する基本概念（事象と確率、確率変数、期待値、分散）
	第4回 6/15(水)	確率分布（2項分布、ポアソン分布、正規分布など）とその応用
	第5回 6/22(水)	相関分析、回帰分析
	第6回 6/29(水)	確率・統計の様々な応用例
授業の形式	座学	
授業の進め方	簡単な数値例、現実のデータなどを使って実際に表やグラフを作って見せながら、またいろいろな基本統計量を計算して見せながら講義を進めます。	
教材などの追加負担	教材費の負担はありません。 希望者には、参考図書「経済・経営系のためのよくわかる統計学」（朝倉書店）を定価の半額（1200円）で頒布します。	
受講者へのメッセージ	数学の苦手な人にも理解してもらえるように講義するつもりです。この講義で使う数学を理解するためには、中学までの数学の知識があれば十分です。数式は外国語のようなものです。数式が出てきたら日本語に翻訳すればいいのです。この講義を通して、数式を日本語へ翻訳する方法を学んでください。	
講師紹介	<p>前川 功一（まえかわ こういち） 学長 経済学部 経済学科 教授 経済学博士</p>  <p>1943年生。1967年広島大学政経学部(当時)卒業、1969年一橋大学大学院修士課程修了。以後広島大学に勤務。経済学部長、教育担当、財務担当副学長などを歴任後、2007年同大学を定年退職。この間ロンドン大学、ウエスタンオンタリオ大学など海外の大学で研究。1997年Econometric Theory Award受賞。2007年広島経済大学に就任。2008年学長就任。元・日本金融・証券計量・工学学会会長。統計学、計量経済学、計量ファイナンスが専門。国内、国外の専門雑誌に多数の論文を執筆。専門的研究のほかに統計学をやさしく解説することにも力を入れている。例えば教科書「経済・経営のためのよくわかる統計学」（朝倉書店）、一般向け解説記事「金融工学への誘い」（雑誌「広島人」）に連載。ホームページ <a href="http://www.hue.ac.jp/prfssr/rcfe/index.html">http://www.hue.ac.jp/prfssr/rcfe/index.html</a> にも掲載）などがある。</p>	